

医療&IT・ものづくり異業種交流会

主催：札幌商工会議所、札幌市 協力：さっぽろ産業振興財団、ノーステック財団

札幌商工会議所では、医療を軸にIT、食、観光、ものづくりなど様々な分野が連携することで、新たな産業集積を図る「Medical Cluster City Sapporo (MeCCS)」構想を提唱しています。この度、札幌市内の医療機関（医療関係者）とIT・ものづくり企業との連携促進を図るべく、医療現場が抱える課題の共有とその改善に向けた意見交換・異業種交流会を開催します。医療現場との連携により、新たなビジネスチャンスを模索したい企業の方や、企業との連携により、医療現場の更なる環境改善に取り組みたい医療関係者の方の参加をお待ちしております。

日時

平成31年**3月8日（金）** 15：00～17：00
※17：00～懇親会を予定（参加費：3000円）

場所

ニューオータニイン札幌 3階 青葉の間
（札幌市中央区北2条西1丁目）

参加費
無料

定員40名

イントロ
ダクション
(30分)

「“医療現場のあたり前”実はそこに新たなビジネスチャンスが！」

講師：森ノ宮医療大学 准教授 **西垣 孝行 氏**（臨床工学技士）



講師プロフィール

国立循環器病研究センターで、17年間、臨床工学技士として人工心肺や補助人工心臓などの生命維持装置の操作・保守管理、他職種への教育、臨床研究などに携わる。

様々な臨床現場のニーズを把握し、企業展示会などでシーズを把握し、ニーズとシーズのマッチングによる医工連携に取り組む。最近では、デザイナーと共同研究開発を行っており、感染予防用のアイガード「Parashield」を上市。デザインに関しては、京都ビジネスデザインスクールにTAとして参加。2016年、経済産業省の「始動Next Innovator」で医工デザイン融合をコンセプトにした新規事業案を提案し、シリコンバレー派遣20名に選出、さらには最終プレゼンター5名にも選出される。「命のDESIGN」について、様々な角度から価値を創造し、新たな医療文化を作るDoerとして活動。

ワーク
ショップ
(90分)

テーマ：医療現場、医療製品のあたり前（バイアス）を取り払う

コーディネーター：森ノ宮医療大学 准教授 **西垣 孝行 氏**

医療関係者とIT・ものづくり企業がグループとなり、ワークショップを行います。お互いの専門分野の常識や先入観を取り払い、医療現場の環境改善に向けたヒントや、医工連携による新ビジネス創出のきっかけを得られる機会です。

参加申込については、下記に必要事項をご記入の上、3/4（月）までにFAX(222-5215)願います。

参加申込書 FAX：011-222-5215

※ご記入いただいた情報は、本事業に利用する他、各種連絡・情報提供に利用することがあります。

事業所名 医療機関名			
TEL/FAX	TEL： FAX：	E-mail	
参加者氏名①	(役職)	(氏名)	懇親会 参加・不参加
参加者氏名②	(役職)	(氏名)	懇親会 参加・不参加

お問合せ

札幌商工会議所 総合企画部企画課 TEL：011-231-1360